

マルチン・デ・ポレス

No. 84
2026年 9月

発行人:村上 敬祥 発行所:聖マルチン病院 坂出市谷町1-4-13 (0877)46-5195
ホームページ <https://sakaide-martinhp.jp/>

2026年4月よりキャノンメディカルシステムズ社製のマルチスライスCT装置Aquilion Serve (アキュリオン サーブ) 80列を新たに導入いたしました。

以前使用していましたAquilion 64列は2008年に導入され約18年近く使用し当院の画像検査へ大きく貢献して参りましたがこの度その役目を終え新装置導入となりました。

新しいCT装置になり大きく変わった事として撮影時に患者様が入っていただくトンネルの開口径が800mmと大きくなり圧迫感を感じずリラックスして検査を受けて頂けるようになりました。

撮影に関しても撮影範囲が80列になり一回転で撮影できる幅が増えたことにより高速スキャンによる息止め時間の短縮が可能となりました。

画像処理ではAI技術である深層学習 (Deep Learning) を用いた画像再構成技術により少ない被ばく線量でありながらノイズの少ない高品質な画像を提供する事ができるようになりました。

また、SEMAR (シーマ) と呼ばれる金属アーチファクト低減技術が新たに組み込まれました。

特に手術後の患者様におかれましては体内に人工関節などの金属が入っていることは珍しくなく以前のCT装置では画像の金属部分から放射状の画像ノイズ (アーチファクト) が入り金属のない部分にまで影響が生じました。しかし、SEMARにより金属周辺の組織が明瞭に観察でき診断価値を向上させるとともに読影される医師へ大きく貢献できると思われます。

時代のニーズと共に当院のCT装置も大きくバージョンアップいたしました。

従来の装置より大幅な被ばく低減で撮影を行いつつ高精細な画像取得が可能となり患者様への負担軽減へと大きく寄与しますので安心して検査をお受けしていただけるかと思います。

なにかご不明点等がありましたら放射線科スタッフまでお尋ねください。

放射線科



800mm

病院の理念

私たちはキリスト教の愛にもとづいて生命の尊重、人格の尊厳と平等、病める人々の権利を守る医療を行い、心身の救いを目指します。

私たちは医療にかかわる者としての使命を深く認識し、人格の向上、相互愛、専門職の研究向上に励み、地域医療に役立つよう努力いたします。

聖マルチン・デ・ポレスは、

16世紀に南米ペルーに生まれ、

多くの病人やけが人をやさしく看病した

聖マルチン病院の保護者です。

基本方針

- ・良質で愛のある医療
- ・安全と信頼の医療
- ・地域に密着した医療
- ・質の高い高齢者医療とケア

「マルチン・デ・ポレス」は地域の皆様へ病院からの案内をご紹介します。皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

～ S T : 言語聴覚士の紹介 ～

2026年6月1日より、リハビリテーション科で言語聴覚士として入職しました田中文晴と申します。よろしくお願いいたします。

【言語聴覚士（ST : Speech-Language-Hearing-Therapist）とは？】

言語聴覚士という職業をご存じでしょうか？聞き慣れない職業だと思われる方もいらっしゃると思います。理学療法士や作業療法士と同様に、リハビリテーションを行っています。言語聴覚士は全国でおよそ4万人、理学療法士や作業療法士に比べるとまだまだ少ない人数です。

STは主に、病気やケガ、加齢などにより「聴く」「話す」「食べる（飲み込む）」ことが難しくなった方をサポートするリハビリテーションの専門職です。脳血管疾患後の失語症・高次脳機能障害・構音障害・音声障害・嚥下障害など、難病の方の構音障害・音声障害・嚥下障害など、福祉施設でのリハビリ支援、訪問リハビリを通じて在宅生活のサポート、小児の発達支援など、医療や福祉、教育の現場で働いています。



【坂出聖マルチン病院でのST】

当院では、主に神経難病のリハビリが多く、嚥下面では食事の評価を行い、むせ込みや飲み込みにくさの度合いを評価し、安全に食べられる姿勢の検討や口の体操などのリハビリを行います。その方の病状に合わせて、食事形態やトロミの濃さをスタッフと連携して提案します。言語面では、声の出にくさや言葉が伝わりにくいといった症状への訓練やアドバイスをを行い、症状の進行を見据えて代替手段の導入を進めていきます。病状が変わっても、スムーズに思いを共有できる環境を整えます。「機能を元に戻す訓練」だけでなく、「今ある機能を最大限に活かし、少しでも長く、その人らしい生活を維持する工夫」を患者様・ご家族・スタッフと一緒に考えていきたいと思っています。



【地域の皆様へ】

ご家族やご自身のことで「ご飯や水分でよくむせるようになったなあ」「病気をしてから言葉がうまくでなくなったなあ」など、気になることはありませんか？ちょっと気になるなという段階でのご相談が一番の予防になりますので、ぜひ気軽にご相談ください。



～ 院内行事の紹介 ～



2026年7月4日（土）
7F聖堂で患者様の
娘様ご夫婦が結婚式を挙げました。



2026年8月1日（土） ふれあい看護体験
高校生8名が参加しました。初めて看護師の仕事を体験しました。

～ 年末年始の案内 ～

2026年12月30日（水）～ 2026年1月3日（日） 外来休診となります。
2026年1月4日（月）より通常診療を行います。

～ 院内行事の紹介 ～



2026年7月29日（水）



看護部ゴードン症例研究発表会
毎年3年目の看護師が発表しています。

今月の一言

生活に
祈りを持つように
してください。
祈れば、
心が澄み、心が澄めば、
神が見えてきます。

マザー・テレサ

医療相談窓口

医療の安全と信頼、サービス向上を図るために、
患者様・ご家族様の相談窓口を設けています。

～設置場所～

病院1F 総合案内「患者相談窓口」

対応時間 月・火・木・金曜日 8:00～17:00

水・土曜日 8:00～12:00

アクセスマップ 駐車場案内



AccessMap (アクセスマップ)

